

# 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 組み合わせ基準

令和元年7月30日改訂

(公財)全国高体連バドミントン専門部

第1条 (公財)全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校総体の組み合わせ基準を次のように定める。

## 1 学校対抗 (団体戦)

- 第1条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞校を入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、同順位は抽選
- 第2条件 前年度全国高校総体ベスト8入賞校を入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、同順位は抽選
- 第3条件 開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。  
※ 開催都道府県は、単独地区(ブロック)とする。
- 第4条件 第1・第2条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。
- 第5条件 第1・第2条件によって入っている地区(ブロック)の第1代表がまだ入っていない時は入れる。
- 第6条件 開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第7条件 各地区(ブロック)の第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第8条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。
- ※ 試合番号 1・9・10・18に入るのは、同地区(ブロック)からは2つまでとする。
- ※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。
- ※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

## 2 個人対抗 (ダブルス)

- 第1条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、3位、5位は抽選
- 第2条件 前年度全国高校総体ベスト8入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、同順位は抽選
- 第3条件 開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第4条件 前年度全国高校総体ベスト16入賞者が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第5条件 第1・第2・第4条件の該当者でパートナーの変更(組替)によるときは、第1条件から順に入れる。
- 第6条件 第1・第2・第4・第5条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。
- 第7条件 開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第8条件 上記にない各ブロックの第2代表を入れる。
- 第9条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。  
※ 試合番号 1・17・18・34に入るのは、各ブロックからは2つまでとする。  
※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。  
※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

### 3 個人対抗（シングルス）

- 第1条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、3位、5位は抽選
- 第2条件 前年度全国高校総体ベスト8入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。  
※ 1位、2位、3位、5位の順、同順位は抽選
- 第3条件 開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第4条件 前年度ベスト全国高校総体16入賞者が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第5条件 第1・第2・第4条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。
- 第6条件 開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。
- 第7条件 上記にない各ブロックの第2代表を入れる。
- 第8条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。  
※ 試合番号 1・17・18・34に入るのは、各ブロックからは2つまでとする。  
※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。  
※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

# 全国高等学校選抜大会組み合わせ基準

第2条（公財）全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校選抜大会の組み合わせ基準を次のように定める。

## 1 学校対抗（団体戦）

- 第1条件 全国高校総体ベスト8入賞校を入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第2条件 開催都道府県第1代表が第1条件によって入っていない時は入れる。
- 第3条件 前年度全国選抜大会ベスト4入賞校が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第4条件 第1・第3条件によって入っていない地区（ブロック）の第1代表を入れる。
- 第5条件 上記の基準を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。  
※ ストレート出場の東京（男女各2（東・西））・神奈川（男女）・埼玉（男女）・愛知（男女）・大阪（女）は単独地区（ブロック）とする。  
※ 初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。

## 2 個人対抗（ダブルス）

- 第1条件 全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第2条件 全国高校総体ベスト16入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第3条件 前年度全国選抜大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第4条件 開催都道府県第1代表が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。
- 第5条件 第1・第2・第3・第4条件の該当者でパートナーの変更（組替）によるときは、第1条件から順に入れる。
- 第6条件 第1・第2・第3・第5条件によって入っていない地区（ブロック）の第1代表を入れる。
- 第7条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。  
※ 初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。

### 3 個人対抗（シングルス）

- 第1条件 全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第2条件 全国高校総体ベスト16入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第3条件 前年度全国選抜大会ベスト8入賞者を入れる。  
※ 同順位は抽選
- 第4条件 開催都道府県第1代表が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。
- 第5条件 第1・第2・第3条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。
- 第6条件 上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。  
※ 初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。